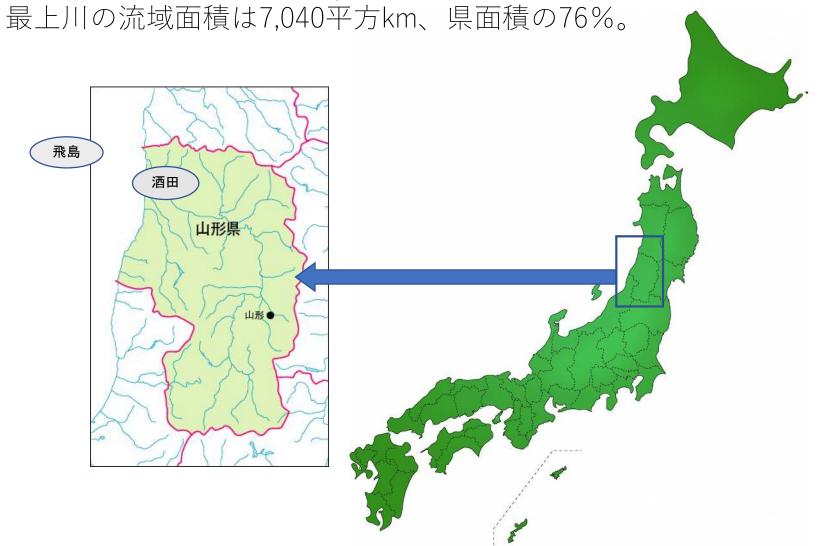
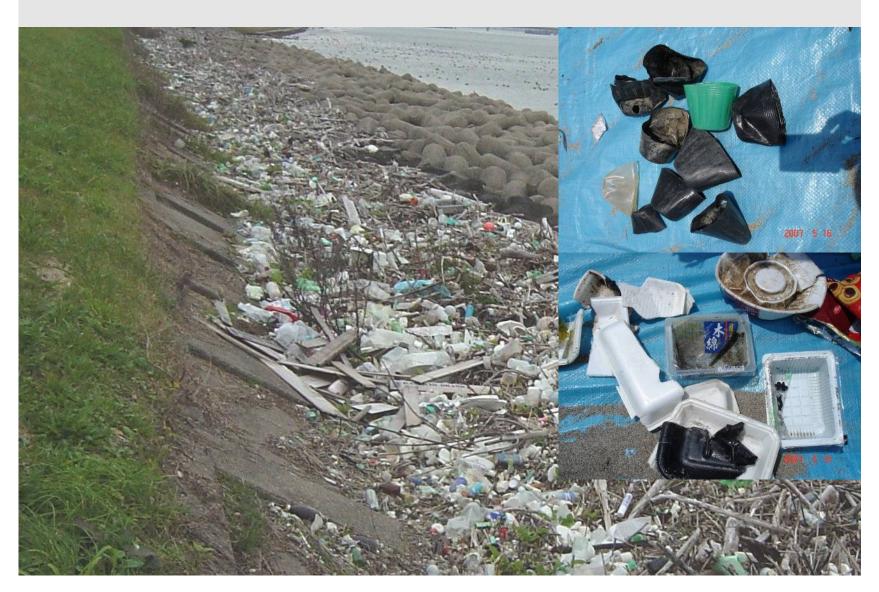


山形県は東北地方の南西側にある、108万人が暮らす地域。 海岸線の長さは約135km。



# 山形県最上川の河口部(酒田市)



### 流域間をつなぐ~ 東京・多摩川クリーンエイド

1893年 東京・多摩地域が神奈川県から東京府(当時)に移管される

1993年 多摩東京移管百周年記念事業を開催 〇21世紀の新しい多摩づくりを考える~部会を設置

-

リサイクル部会 (リサイクル型都市の形成)

芸術文化部会(文化ゾーン多摩の形成)

都市農業部会(都市農業の新しい展開)

スポーツ部会 (交流ネットワークの形成)

湧水崖線部会 (湧水・崖線の保全) I

湧水崖線研究会を設置 (現、みずとみどり研究会) 多摩川部会 (多摩川の復権)

多摩川研究会を設置 (現、NPO法人多摩川センター)

- ・多摩川に親しむ
- ・多摩川を知る
- ■多摩川を守る
- •多摩川を考える

「多摩川クリーンエイド」の実施 (JEAN/クリーンアップ全国事務局が企画運営) ※河川一斉の調査型クリーンアップ活動

# 流域間をつなぐ~ 東京・多摩川から荒川下流へ

1994年 荒川放水路通水70周年記念事業の一環として、河川一斉清掃事業 「荒川クリーンエイド」を開始

建設省関東地方整備局荒川下流工事事務所(現、国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所)が NPO法人多摩川センターに委託



企画運営: NPO法人多摩川センター

(多摩東京移管百周年記念事業を機に設立)

企画実施協力; JEAN/クリーンアップ全国事務局

(現、一般社団法人JEAN)

#### く特色>

- ・キャプテン研修会(リーダー育成)の開催 海ごみ問題を見据えた民官連携の取組み
- 国際海岸クリーンアップ(ICC)の一環



1994~96年の3年間をかけて、運営主体を 流域関係者に移管

1997年 荒川クリーンエイド・フォーラム結成

1999年 NPO法人化

2011年 第13回日本水大賞・国土交通大臣賞受賞

2019年 海ごみゼロアワード・最優秀賞受賞

# 流域間をつなぐ~ 荒川下流から最上川へ

2000年 山形県「美しいやまがた最上川創成構想」を策定 ※NPO法人パートナーシップオフィスが企画協力

2001年「美しい山形・最上川フォーラム」が設立 最上川を美しい県土づくり運動のシンボルに以下の目標を掲げ、 関連部会を設置して活動を展開

- (1) 美しく豊かで健全な水環境を守り育てる
- (2) 川に育まれた地域文化を理解し活かす
- (3) 最上川を地域経済の活性化に活用する

地域部会

最上川文化·地域経済 活性化部会 清流•環境対策部会

- ・身近な川や水辺の健康診断
- 美しい山形クリーンアップキャンペーン
- ・スポーツごみ拾い
- •もがみがわ水環境発表会

荒川クリーンエイド(多摩川ク リーンエイド)の手法を転用

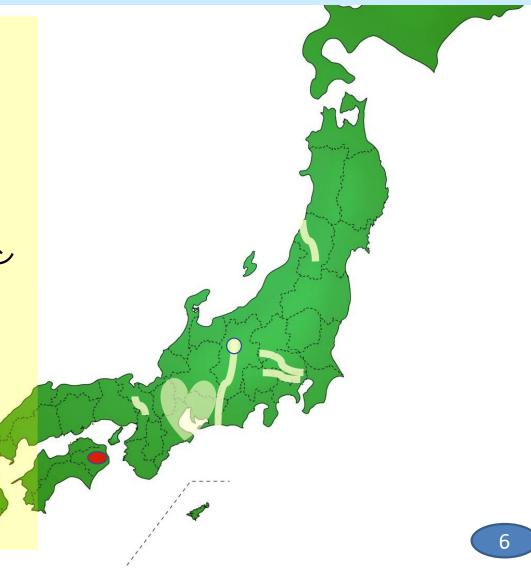
### 第5回川ごみサミット開催の縁を活かせるか~ 日本三大暴れ川との縁は?

#### <課題>

- 〇当事者としての認識
  - ・河川管理者側~ 権限の行使の仕方
  - ・市民団体側~ 広域的な視点も
- ○財源の確保、主体の存在
  - ・多摩川クリーンエイド
    - ⇒単年度で終了
  - ・荒川クリーンエイド、美しいやまがたクリーンアップキャンペーン⇒継続、発展中

### <連携ツールとしてのごみ調査等>

- ・ICC(国際海岸クリーンアップ)~調査型清掃活動
- ・水辺のごみ見っけ~簡易な市民参加調査
- ・水辺の散乱ごみ指標評価手法による実態比較
- ・川ごみマップの活用
- ※アドプト、河川協力団体制度や 身近な水環境の全国一斉調査との共同



## <海岸漂着ごみへの取組みの一例~山形県酒田市飛島> 「飛島クリーンアップ作戦」は来年で20年、20回











